

議会市民懇談会報告書

平成28年5月22日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

総務文教常任委員長 河野 朋子
一般会計予算決算常任委員長 伊藤 實

平成28年5月22日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成28年5月22日（日） 13:00 ～ 14:50

2 開催場所

ケアハウス山陽

3 申請団体等名称

小埴生連合自治会 代表者 重原敏朗

4 参加人数（市民）

27 人

5 テーマ

埴生地区複合施設の中学校入り口民有地と青年の家市有地について

6 担当議員名

（ 伊藤 實 ）（ 河野朋子 ）（ 小野 泰 ）（ 中島好人 ）
（ 下瀬俊夫 ）（ 矢田松夫 ）（ 笹木慶之 ）（ 岡山 明 ）
（ 河崎平男 ）

7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) テーマの趣旨説明
- (4) テーマの報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

- (1) 議会から、埴生地区複合施設整備事業について経過説明
- (2) 議会から、平成28年度予算の埴生地区複合施設整備事業の修正案説明
- (3) 青年の家周辺の土地を有効活用がなされていない。熊本地震のように避難場所として十分なスペースとして駐車場を確保してほしい。また、ブルーシートで覆ってある建物をどうかしてほしい。
- (4) 青年の家地域は歴史的な地域であり、このことを生かして活性化してほしい。
- (5) 青年の家等に建物を建設する前にグランドなどの使用を使いやすくしたほうがよいのではないか。下関方面からも沢山利用者がある。
- (6) 市有地があるのになぜ民有地を買うのか。どこに建てるか選定していただきたい。また、中学校隣接地に建てる交通事故が起こる。
- (7) 合併特例債は埴生支所、埴生公民館など使えるといわれた。今回否決され再編は青年の家しかないのではないか。
- (8) 公共施設再編整備と小中一体の連携校とは切り離して考えることが必要ではないか。
- (9) 学校と公共施設の建設場所は狭いので危険が伴うところになぜ建設するのか。青年の家は広大な土地があるので有効に考えてほしい。
- (10) 青年の家は以前の高潮被害も受けておらず、有効な土地と考える。